

令和2年2月 吉日

「りんく」保護者各位

むぎのめ子ども発達支援センターりんく

園長 大迫 より子

## 「児童発達支援自己評価」(保護者向け)の結果について(報告)

梅花の候、皆様におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。さて、当事業所に通園している保護者の皆様のご協力のもと、本園の自己評価を過日実施いたしました。

その中のほとんどの項目で、概ね高い評価をいただき、「りんくに行くと言顔が増えました」「子どもの特性に応じて柔軟にプログラムが実施されています」「子どもの接し方も参考になりとても満足しています」等の声を寄せていただきました。

課題となるご意見として、『職員の配置数』『保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会』『非常時等の対応』の項目について「どちらともいえない」「わからない」「いいえ」の回答が若干みられました。

『職員の配置数』につきましては、運営基準に沿った職員の人数を配置しております。次年度におきましても、より丁寧な支援をすることができるように基準より多く職員の配置をする予定です。『保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会』につきましては、合同の行事の開催（人形劇）、外遊びの時間の園庭の共有、年長の田んぼ活動と、インクルーシブ保育を目指し取り組みを進めてまいりました。今後も、保育園と療育が隣接しているという環境を生かし、子どもたち同士の交流ができる活動を計画していきたいと思っております。

また、『非常時等の対応』については、各マニュアル・避難計画を作成し、職員間で共通認識のもと、各部屋に掲示またはファイルを配置し、定期的に訓練も実施しております。今後も、各マニュアルの周知・説明や、定期的な訓練の実施に努めていきたいと思っております。

今回はお忙しい中、自己評価へのご協力ありがとうございました。今後もこれまでと同様、よりよい実践と事業所運営に取り組んでいきたいと考えておりますので、忌憚のないご意見とご協力をよろしくおねがいいたします。

保護者等からの事業所評価の集計結果

【児童発達支援】

公表:令和2年2月21日

事業所名:むぎのみ子ども発達支援センターりんく

保護者等数(児童数)29家庭 回収数 27 割合 93%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	0	0	0		今後も子どもたちが安心して思う存分活動できる空間を保障していきたいと思えます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	4	3	0	0	子どもへの接し方が勉強になります。	児童発達支援センターの基準の職員配置は行われています。今後も専門性を高め、子どもの発達支援に従事していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 <sup>i</sup> になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	27	0	0	0	手が届くところに危ないものがないよう配慮しています。	子どもの生活の導線に即し、子どもの主体性が促されるような環境設定を大事にしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26	1	0	0		今後も、子どもたちが心地よく過ごせる環境づくりに努めていきます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 <sup>ii</sup> が作成されているか	27	0	0	0	専門職の先生が来所する際に相談をしてみたいがどのように伝えていいかわからない。	面談やモニタリング等で、保護者からの要望や事業所から見つけなければならないお子さんを専門職につないでいます。今後も、保護者が相談しやすいように努めていきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26	0	0	1		今後も、ひとり一人の子どもの実態に即し、具体的にわかりやすい個別支援計画づくりに努めます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26	0	0	1		今後も児童発達支援管理責任者を中心に、計画に沿った支援がなされているか、確認や検討もしながら取り組めます。
	8	活動プログラム <sup>iii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	26	1	0	0	子どもの特性に応じて柔軟に組み合わせ、実施されています。	今後も子どもの発達や実態に即したプログラムの検討をしながら実践を展開していきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	19	4	1	2	友人の子どもと遊ぶ機会はあります。	特に母子分離グループでは、園庭あそびを一緒にしたり、合同で行事(人形劇)をしたり、年長児は田んぼ活動を一緒にしています。
保護者への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	1	0	0	丁寧にわかりやすく説明いただいています。	今後もわかりやすい説明を心がけ、気軽に質問もできるように努めます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	26	0	0	1		今後も活動のねらいや意図も含め、わかりやすく説明できるよう努めます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング <sup>iv</sup> 等)が行われているか	26	0	0	1	学習会や家族支援プログラムはまだ行っていません(途中入園)。	母親、父親への学習会はもちろん、祖父母を対象にした学習会も実施しています。いつも多くの参加をいただき、ありがとうございます。今後も子ども理解や家庭生活が充実できるよう、丁寧に取り組んでいきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	27	0	0	0	日頃から先生方に話しやすい環境にあります。	細かな変化にも気づけるよう、家庭生活の様子を把握し、また療育での様子も具体的にわかりやすく伝えることを心掛け、共通認識できるように努めています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	0	0	0	わからない事、困った事は先生方に質問し、助言ももらっています。	概ね、学期に1回~2回の頻度で学習会交流会を行っています。家族の行事も年3回ほど実施しています。今後も丁寧に取り組んでいきたいと思えます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	25	0	1	1	父母の会の活動はまだ未参加です。	親の会に参加することで、つながりを感じたり、元気がでるような会になるよう、連携に努めています。親子グループや途中入園の方は、状況に応じて参加の呼びかけを行っています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	25	2	0	0		相談や申し入れは迅速に対応いただいています。今後も迅速かつ丁寧に対応できるよう努めます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	0	0	0		今後もよりよい関係づくり、情報伝達のための配慮に努めていきます。
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26	0	0	1		今後も、わかりやすく読みやすいお便りの作成や、必要な情報を早めに開示していくように心がけていきます。	

	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	25	1	0	1		引き続き、十分注意して取り組みます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	23	2	0	2	まだ訓練に参加したことがないです。	各マニュアルを作成し、掲示していますが、全員は周知できていない状況があるため、周知できるような取り組みや、訓練を親子で行う等の工夫をしていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	1	0	2	まだ訓練に参加したことがないです。	法令に従って訓練を実施しています。途中入園の方も含め、保護者の方にも知っていただけるよう、親子で1回は訓練に参加できるように努めていきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	25	1	0	1	毎日通園を楽しみにしています。りんくに行く笑顔が増えました。	これからも子どもたちにとって、安心して自分を出し、楽しくあそびながら成長発達を促せる場となるよう努めていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	24	2	0	1	先生方が一生懸命にしてください、子どもとの接し方も参考になり、とても満足しています。	よりよい「発達支援」「家族支援」「地域支援」を目指していきます。今後もりんくに対する意見や要望を出していただけると嬉しいです。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和2年2月 吉日

関係者各位

むぎのめ子ども発達支援センターりんく  
園長 大迫 より子

## 「児童発達支援自己評価」(事業所向け)の結果について(報告)

梅花の候、皆様におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。

さて、当事業所における「児童発達支援自己評価」(事業者向け)について自己評価を過日実施いたしました。

その中の環境・体制整備、業務改善、適切な支援の提供について等、職員間での情報交換や共有を行い、同じ方向を目指していることを、再度職員全体で確認することができました。今回の自己評価の取り組みの過程において、活動プログラムの計画を子どもの実態に沿って具体的に立てていくことに課題を感じている職員の声もありました。

職員集団として、その声をしっかりと受けとめながら、今後も子どもたちの実態に即した療育実践が展開されていくよう、これまで以上に、ひとりひとりの子どもの発達課題、発達段階に応じた生活とあそびの支援・集団づくりについて、研修や実践検討などの学習を重ね、子どもたちひとりとひとりが力を発揮し、主体的に生活やあそびに向かうことができるような療育の中身づくりを目指していきたいと考えています。

今後も、様々なご意見をお聞きする中で、職員、保護者(家族)と共に理解を深め、子どもたちのよりよい成長発達を願い、一歩ずつ取り組みをすすめながら事業所づくりをしていきたいと考えております。

これからも多くの方の忌憚のないご意見とご協力をお願いいたします。

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和2年 2月 21日

事業所名:むぎのめ子ども発達支援センターりんく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		基準に従い、基準よりも十分なスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		基準に従った職員数を配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		子どもの生活導線に即し、子どもの主体性が促されるような環境設定を大事にしている。室内はバリアフリー(段差無し・手すり)である。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		こまめに清掃、消毒を行っており、定期的に案内安全点検を行い、安心安全な環境づくりに努めている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		全職員で課題を共有し、業務改善に向けての検討を行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		意見箱や親の会との運営委員会での要望・意見、個別面談等での要望・意見をもとに、業務改善に努めている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		今回の評価を受け、法人のホームページの公開する。自己評価の取り組みは今後も丁寧に取り組んでいきたい。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		法人で定期的に行い、必要に応じて改善につなげている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		法人研修や外部研修へ多くの職員が参加できるように、年間計画を立てて取り組んでいる。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		相談支援専門員、子ども・保護者のニーズ、発達評価等をもとに、分析・検討を行い作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		K式発達検査等、標準化されたアセスメントツールを使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		できるだけ、わかりやすく具体的な支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画に沿った支援について共通理解を深め、支援を行っている。児発管が定期的に確認している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		年、月、週、当日、行事など、担当職員を中心に、チームで療育内容や支援の在り方について検討している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		年間計画や毎月の活動計画において療育内容を検討しており、季節や生活文化、子どもの実態に応じた療育内容の工夫を行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○		集団療育の中に個々の課題に応じた支援(個別の活動)を取り入れており、計画を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせを行っている。大きな方向性については、前日まで共通理解している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後には、反省会を行っている。参加できない職員については、申し送りを行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		子どもの実態、変化、具体的な支援、今後の課題につながる内容を記録するように心がけている。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		支援計画に沿って、保護者と現状を確認し合い、支援の方向性を検討している。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		基本的に児童発達支援管理責任者が出席しているが、ケースによっては担当職員も同席している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		地域のネットワーク会議に参加したり、地域の事業所を対象とした連携会議を開催している。ケースに応じて、個別の連携も図っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		入園前の体験活動や、連携会議、日常の電話等での実態把握を通して、情報共有、相互理解を図っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		連携会議への参加(情報提供、支援の方向性についての相互理解)。事前の体験活動や卒園後も必要に応じて訪問、連携会議を実施している。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修会や、公開療育などへ参加し、連携及び学びを深めている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		認可保育園が隣接しており、園庭の共有や合同の行事など、日常的に関わる機会がある。	インクルーシブ保育を目指しており、その取り組みについてわかりやすく伝えていきたい。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		積極的に参加できるように努めている。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の連絡帳や活動後の引き継ぎ等、できるだけわかりやすく伝えること。家庭の状況を把握できるように努めている。	生活記録表からの気づきや子どもの変化をもっと具体的に話すことができるように学習を重ねていきたい。
保護者への説明責任等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		定期的に学習会、交流会を実施している(子どもの発達や関わり方など)。親の会活動、法国家族会活動もあり、よりよいつながりがある。	
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時にできるだけわかりやすく説明を行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援内容、支援計画についての説明を行う時間を設定し、保護者からの同意を得ている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的な面談以外にも、電話や来所による相談など随時対応できるよう努めており、タイムリーに解決ができるように努めている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		親の会と連携しながら、楽しく交流したり、共に学び合う場をつくっている。法人の家族会や県の父母の会への参加も保育をするなど支援をしている。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談や申入れは迅速に対応できるように体制をつくっている。苦情相談窓口や体制については、契約時に説明を行い、事業所内に掲示している。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		法人の会報、事業所のお便りを定期的に発行している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報の取扱いについて、契約時に説明を行っている。個人情報について具体的な場面でどう対応するかを職員間で共有を徹底している。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個々に応じて必要な支援(具体物など視覚的な支援も含め)を行い、専門職のアドバイスも受けながら手立てを工夫している。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の行事(お月見会)へ参加したり、行事への参加を呼び掛けたりと地域との関係づくりに努めている。	開所して3年目を迎え、地域への周知も深まってきたように感じる。もっと地域との繋がりを深める取り組みを検討していきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種マニュアルを作成し、職員間で共有し、またいつでも手に取って読めるように掲示している。	契約時の説明と掲示のみでは、保護者が理解することが難しい実態が見えてきたため、理解していくための機会をつくってきたい。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月1回の自主訓練、合同避難訓練を年2回実施している。	療育活動が母子分離の子どもたちが多く、子どものみで訓練を行うことが多かったが、避難訓練を実施を理解していない保護者もいるため、親子での避難訓練にも取り組んでいきたい。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時のアセスメントの中で確認している(書類に記入欄あり)。年2回の園内健診で再度確認し、必要に応じて医療と連携している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		食物アレルギーに関しては、医師の診断に基づき、保護者と話し合い対応している。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		朝の打ち合わせ時や毎月の職員会議、夕方の反省会の中で、ヒヤリハット事例について話合っている。文書でも回覧し、職員間で共有している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部研修へ参加し、内部研修で学びあう機会を設けている。人権についての研修も定期的に行っている。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	身体拘束を行うことはないが、どのようなことが身体拘束にあたるのかの理解を職員間で学習等を通して深めている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。